

BANDY WORLD CHAMPIONSHIPS 2015 (バンディ世界選手権 2015 RUSSIA・Khabarovsk 大会)

大会報告



2015 年 2 月

一般社団法人日本バンディ連盟

1. 大会概要

(1) 開催期間・開催地

2015.2.1～2015.2.6 Khabarovsk, Russia

(2) 参加国（9カ国）

LATVIA, ESTONIA, HUNGARY, JAPAN, NETHERLANDS,
MONGOLIA, GERMANY, SOMALIA, CHINA

(3) 組み合わせ

予選リーグ

JAPAN - LATVIA

JAPAN - HUNGARY

JAPAN - ESTONIA

決勝トーナメント

JAPAN - NETHERLANDS

順位決定戦

JAPAN - GERMANY

2. 大会結果

第1位	LATVIA
第2位	ESTONIA
第3位	HUNGARY
第4位	NETHERLANDS
第5位	GERMANY
第6位	JAPAN
第7位	MONGOLIA
第8位	CHINA
第9位	SOMALIA

3. 日本チーム試合記録

(1) 予選リーグ第1戦 (2015.2.1 18:45 開始 @ARENA EROFEY 0℃)

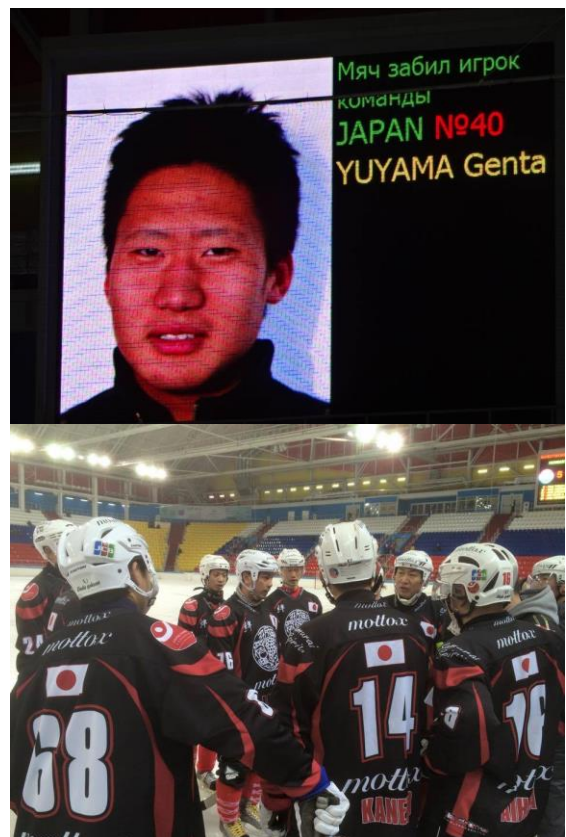
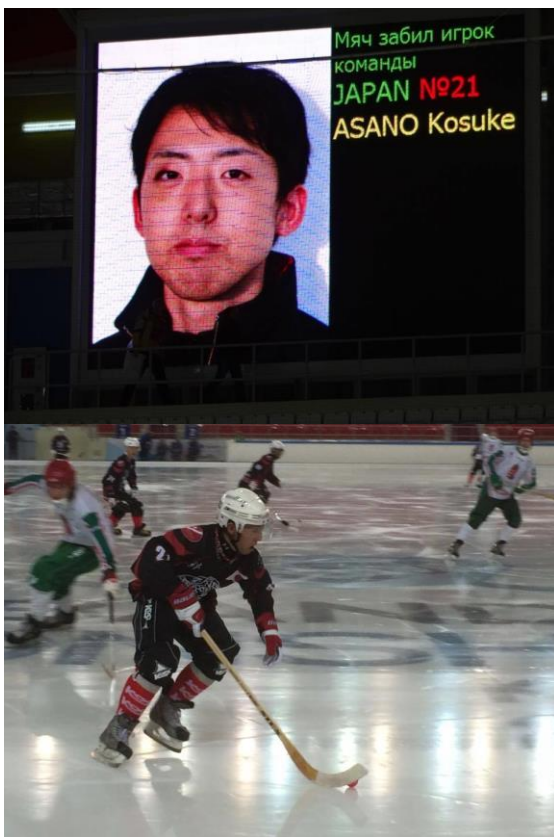
●日本 0 - 4 ラトビア○



(2) 予選リーグ第2戦 (2015.2.2 15:30 開始 @ARENA EROFEY 0℃)

●日本 2 - 5 ハンガリー○

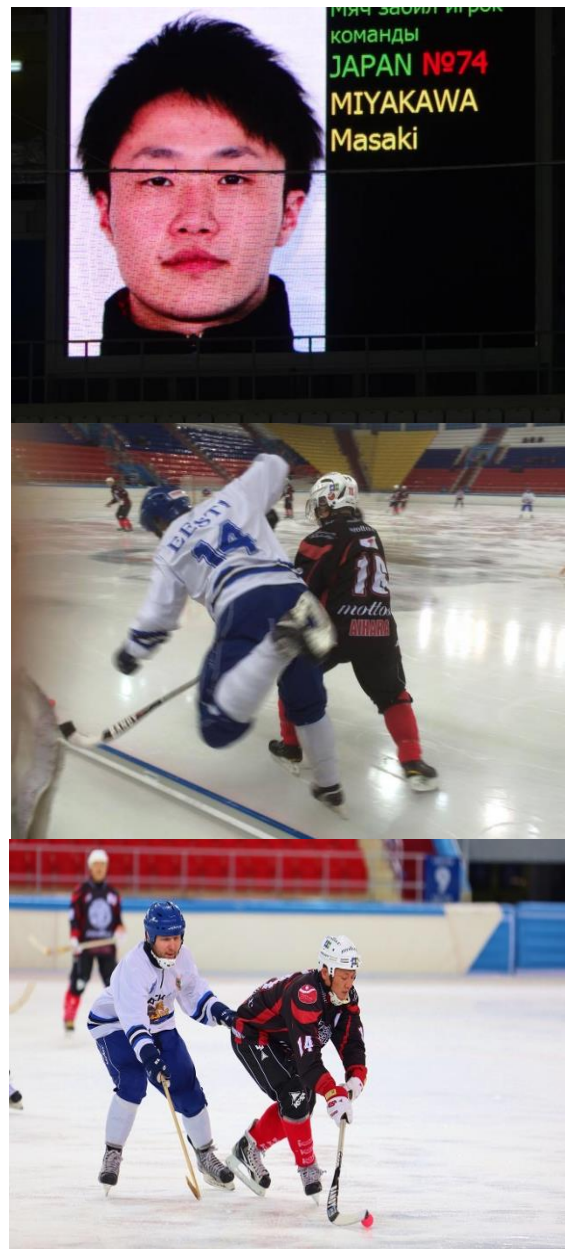
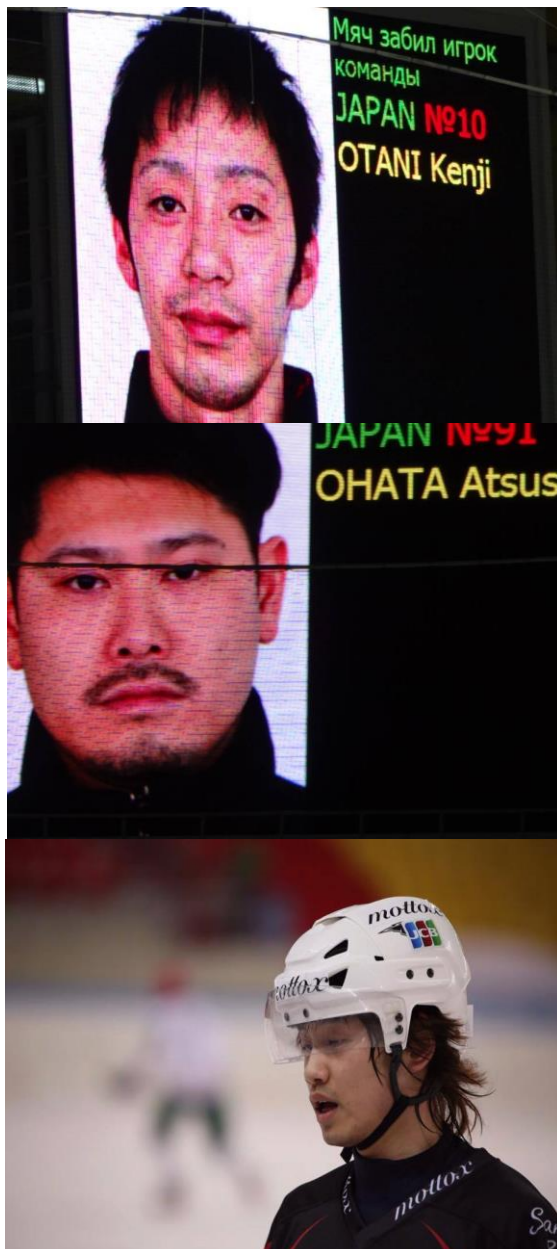
GOAL #21 浅野 航介 #40 湯山 元太



(3) 予選リーグ第3戦 (2015.2.3 13:30 開始 @ARENA EROFEY 0℃)

△日本 4 - 4 エストニア△

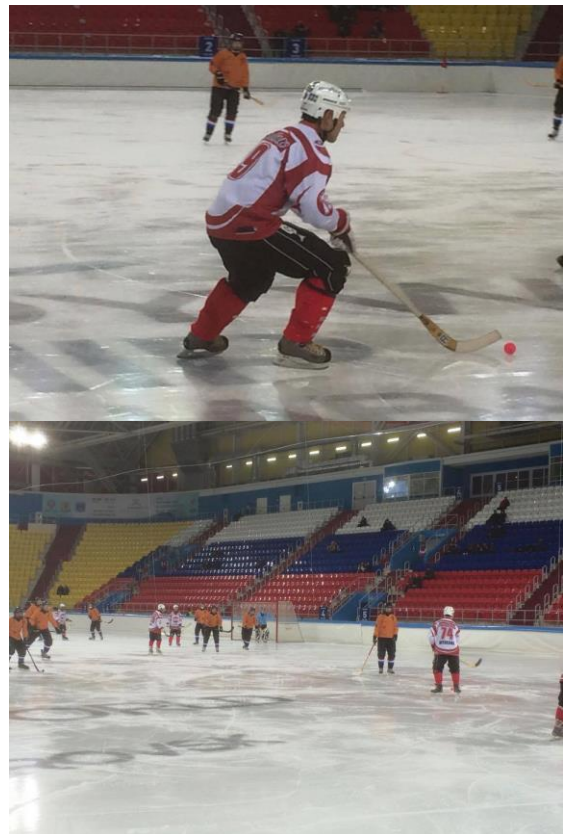
GOAL #91 大畑 篤志 #10 大谷 賢司 #74 宮川 真紀



(4) 決勝トーナメント (2015.2. 16:45 開始 @ARENA EROFEY 0℃)

●日本 2 - 4 オランダ

GOAL #21 浅野 航介 #74 宮川 真紀



(5) 順位決定戦 (2015.2.5 11:30 開始 @ARENA EROFEY 0℃)

●日本 1 - 3 ドイツ

GOAL #21 浅野 航介



4. 日本の戦績

今回の世界選手権 B グループは、9 カ国が参加しました。

予選リーグは、ラトビア、ハンガリー、エストニアといずれも上位国との対戦となり、惜しくも勝利を手にすることはできませんでした。

また、決勝トーナメントでは、ロシア系バンディ経験者を多く擁したオランダと、順位決定戦ではドイツと戦いましたが、残念ながら惜敗しました。

4 回目の出場となる日本の成長ぶりには各国驚き、地元メディアから同行取材を受けるなど、注目度の高さがうかがえました。さらには、地元ハバロフスクでは親日の住民も多く、日本からの留学生や地元住民からの熱い声援の中でプレーすることができました。大変嬉しい事です。

日本チームは、試合することだけにとどまらず、地元小学校への表敬訪問や地元社会人バンディチームとの交流戦を行うなど、バンディを通じた国際交流も積極的に行い、日本を応援するファンの拡大、バンディ普及にも大きく貢献しています。

今後の課題としては、個々のスキルアップ・スタミナ増強はもちろん、フルバンディリンクでの試合経験を積んでいながら、戦術的な適応を更に図る必要があると考えます。



5. バンディ世界選手権 2015 日本選手団

区 分	氏 名	所 属
役員・団長	岡田 幸明	医療法人幸歯会岡田歯科医院
役員・副団長	志水 隆一	公益財団法人都市活力研究所
役員・監督	宅野 六朗	医療法人榊原クリニック
STAFF	千葉 智紹	SET YOU FREE
選手・主将	石岡 元	有限会社ジグ・スポーツ・プロジェクト
選手	楠本 泰教	株式会社コナミスポーツ&ライフ
選手	金子 真英	株式会社ジェーシービー
選手	藍原 弘典	パナソニック株式会社
選手	三木 友一朗	三菱ふそうトラック・バス株式会社近畿ふそう
選手	石岡 仁	有限会社ジグ・スポーツ・プロジェクト
選手	門馬 明信	株式会社ロッテアイス
選手	田居 智彦	株式会社モリタ
選手	佐々木 大輔	学校法人小井手学園
選手	栗林 周次	株式会社ポータス
選手	大畑 篤志	日興電気工業株式会社
選手	浅野 航介	日新製鋼株式会社
選手	大谷 賢司	愛媛パッケージ株式会社
選手	宮川 真紀	前田建設工業株式会社
選手	小玉 大地	学校法人上田学園大阪総合デザイン専門学校
選手	松本 和樹	関西学院大阪インターナショナルスクール
選手	湯山 元太	兵庫県立御影高等学校

 副団長 岡田 幸明	 副団長 志水 隆一	 監督 宅野 六朗
 スタッフ 千葉 智紹	 主将/#18 石岡 元	 #19 楠本 泰教
 #14 金子 真英	 #16 藍原 弘典	 #55 三木 友一朗
 #24 石岡 仁	 #68 門馬 明信	 #11 田居 智彦
 #76 佐々木 大輔	 #17 栗林 周次	 #91 大畑 篤志
 #21 浅野 航介	 #10 大谷 賢司	 #74 宮川 真紀
 #5 小玉 大地	 #23 松本 和樹	 #40 湯山 元太

6. 最後に

日本は、4年連続でバンディ世界選手権大会に出場しました。また、昨年のイルクーツク大会に比べ、着実にレベルアップをしていることを実感しました。今後、フルバンディリンクでの経験を更に積むことで、確実にBグループ1位に、そして、世界のトップグループであるAグループへの昇格も見えてきたと確信できる大会となりました。

日本バンディは、ロシア・ハバロフスクのバンディ連盟との協定を締結しており、日本における普及活動や代表チーム強化、指導者・選手育成システムの確立などを具体的に進める上で重要なパートナーとなっています。今後も国際バンディ連盟（FIB）やアメリカ・カナダなどと同様、継続的に交流を図り、日本のバンディ普及のための両国の協力関係を一層強めてまいります。

世界におけるバンディの状況としては、2017年開催の冬季ユニバーシアード大会において、バンディが正式種目として採用が決定されました。今後は、FIBが中心となり、冬季オリンピックへの種目採用への活動を引き続き積極的に推進します。

日本バンディ連盟（JBF）として、今後、さらに日本におけるバンディの普及活動に注力しながら、バンディを通じての国際交流や世界大会への出場を通じて競技力の向上を図り、世界における日本バンディの存在感を高めてまいります。また、FIBとの関係を強化し連携しながら、世界におけるバンディ競技の普及と冬季オリンピックへのバンディ競技の採用を目指してまいります。

日本の活動は、着実に成果を積み上げておりますが、これも偏に協賛いただいた各社、賛助会員の皆様をはじめとして応援いただいたすべての皆様のお陰と感謝いたしております。引き続き皆様の暖かいご支援・ご鞭撻をお願いいたします。

2015年2月
日本バンディ連盟
会長 高村 博正

